

件名	令和6年度 居宅生活支援部会 WG 会議		
日時	令和7年2月21日(金) 10:00~11:30	場所	福井市役所 15B 会議室
出席者	精神保健福祉士会:橋本氏、YOLO:北山氏、虹の会:稲木氏、COCO やわらぎ:中村氏、相談支援事業所:大角氏、足羽福祉会:吉村氏(部会長)、基幹:坪田氏、ほくせい:黒田氏、市:城戸		
内容	<p>部会で実施したアンケートを基に、課題整理を行い、来年度取り組むべき内容について協議を行った。内容は下記のとおり。</p> <p>①余暇活動の支援・移動について</p> <p>【挙げた意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・余暇支援冊子について、誰でも利用出来るサービスや居場所、支援内容を盛り込めないか。 ・移動で困っている人がどのように困っているか分からないため、聞き取り調査等アンケート実施しては。 ・出来る所から調査を始めるのであれば、現在、移動支援サービスを利用している方を対象として事業所に依頼できないか。居宅介護事業所として協力可能(YOLO・FUKUI) ・バスの減便により、移動支援サービス利用者の待ち時間も長くなっている。 ・福祉タクシーの利用も一杯。充足しているのか疑問である。 ・余暇活動支援冊子に掲載されている場所は送迎支援等がない。そのため、活動場所に行くために移動の課題が出てくる。目的の場所に行くためにどのように交通機関を利用すればよいか調べる必要がある。送迎の有無だけでなく、移動の仕方の案内も出来るといい。 <p>【取り組む内容(案)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○余暇活動支援冊子の更新(移動について盛り込む)・周知…挙げた意見を参考に掲載内容を検討して作成。 ○移動についての課題を深掘りして調査 <p>※冊子に盛り込むための調査を基礎。その他の内容(就労・通院等)については、ワーキングの中で検討要。</p> <p>②地域の理解促進・災害時の対応について</p> <p>【挙げた意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域理解と災害を絡める考えは素晴らしい。リンクさせるといい。 ・地域理解は地域:障がい者双方にとって必要な事柄…支え合い ・大雪・洪水・地震等の災害時に具体的にどのように対応すればよいか分からない。 ・個別避難計画作成の中で、「障害のある方に対してどのように接すればいいか分からない」「障害のある方にどのような配慮をしたらよいか分からない」という話があった。 ・障害当事者の方から直接話を聞く機会があるとよいのではないか。 ・障害者向けの災害対応をどのようにしたらよいか地域の方に分かってもらう必要がある。 ・危機管理課へ働きかけて、イニシアティブをとってもらうように依頼してはどうか。 <p>【取り組む内容(案)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域向けの研修会の継続…R6 年度は主に民生委員向けだったが、R7 年度は自治会長・福祉委員も巻き込みながら、実施することを検討。居宅生活支援部会のみで取り組むのではなく、 		

障がい福祉課、危機管理課等へ相談しながら必要に応じてイニシアティブを取って頂く。

③親亡き後の不安➡当事者向け手引きの作成

【挙げた意見】

- ・作成にあたり、ゴールをある程度決めて行う。
- ・坂井市、小松市での手引きがあるので参照したい。
- ・作成に当たり新しいものを作るのか、今ある物をブラッシュアップするのかを検討。
- ・手引き作成後、福井市の HP に挙げて終わりではなく、活用出来る仕組み作りが必要。
- ・親亡き後の不安について、内容が地域生活拠点事業と共通しているためリンクして取り組む必要がある。
- ・手引きはあくまでも支援者向けではなく、当事者向けであることを意識。
- ・実際に作成して配布等になればお金がかかるため、予算化の相談等も必要な場合がある。

【取り組む内容(案)】

○当事者向けのサービス・制度一覧の作成 ※地域で生活していくために必要な情報

○研修・学ぶ機会の設定(手引きの活用方法の協議含む)

※健康面(医療との連携について):医療機関との意見交換会が実施出来ないか、については、引き続き部会で要検討

➡基幹主催「精神科長期入院者の地域移行・定着を促進する会議」を実施中。関係者が傍聴することは可能。

- ・今年度のワーキンググループでは上記の 3 点に取り組む方向で協議となる。
- ・冊子作成に向けたスケジュールや周知方法等の検討は必要。
- ・次年度スタート時に、3 ワーキングに至った経緯、課題設定に至った背景理解についても部会員に周知する。

➡事前に、説明をメールで伝え、把握したうえでの参加を部会員に求めることとする。